



## 50460-XNCD-K0S0 CIVIC 「PERFORMANCE DAMPER®」

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

#### ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に、取り付け車両の型式確認を行って下さい。
3. [適合車種] CIVIC [適合型式] DBA-FK7、6BA-FK7
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
5. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
6. ボルト及びナットの締め付けには、寸法のあった工具を使用して確実に行って下さい。
7. ブラケット、パフォーマンスダンパーの取り付けにインパクトレンチは使用しないで下さい。
8. パフォーマンスダンパーの取り付け作業の際、ダンパーのロッド部を伸縮や回転させたり、ブーツ部を持ったり、ずらしたりしないで下さい。  
また、ボルト位置が合わない場合は、無理に取り付けを行わないで下さい。
9. 「PERFORMANCE DAMPER/パフォーマンスダンパー」はヤマハ発動機株式会社の登録商標です。

商品についてご質問・ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせ下さい。

株式会社 M-TEC 商品事業部 国内販売課

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

【営業時間10:00～17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

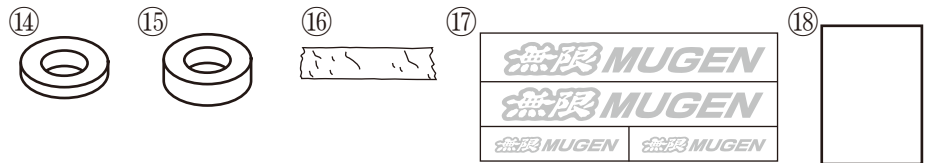
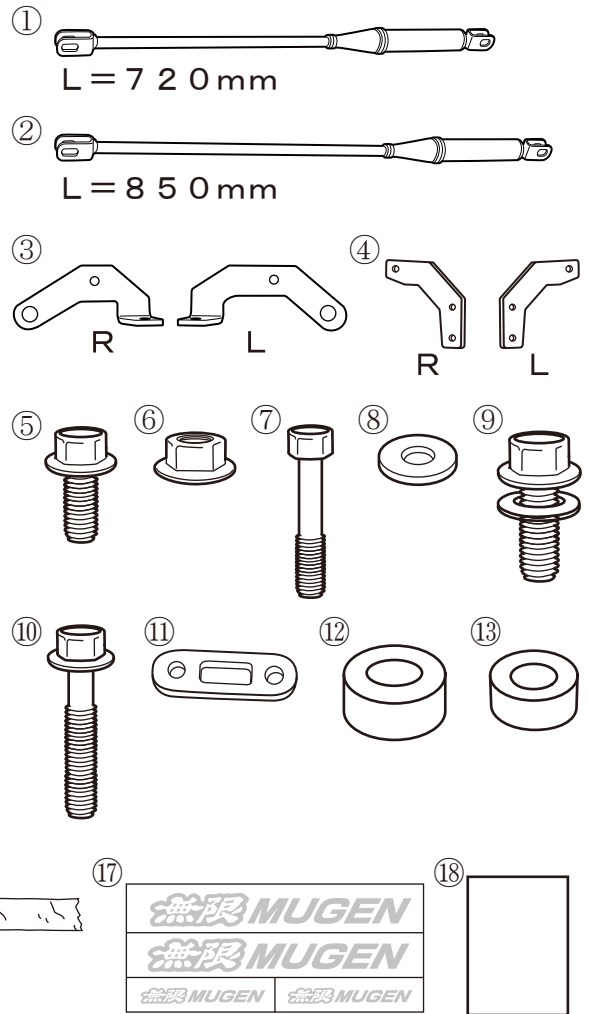
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

#### お客様へ

1. パフォーマンスダンパーが事故や接触により破損・変形した場合は、直ちに交換するか取り外して下さい。  
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的にボルト類の緩み、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

## 【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	パフォーマンスダンパー (FRONT)	1
②	パフォーマンスダンパー (REAR)	1
③	フロントブラケット (R/L)	各1
④	リアブラケット (R/L)	各1
⑤	フランジボルトa (M10×35)	4
⑥	フランジナット (M10)	4
⑦	六角ボルト (M10×80)	2
⑧	ワッシャー (10mm)	2
⑨	ワッシャーボルト (M8×25)	8
⑩	フランジボルトb (M14×90)	2
⑪	スペーサーリアバンパー	2
⑫	カラーa (t12.0)	2
⑬	カラーb (t6.0)	2
⑭	カラーc (t2.5)	2
⑮	カラーd (t5.0)	2
⑯	遮熱シート	1
⑰	ステッカー	1
⑱	取付・取扱説明書	1

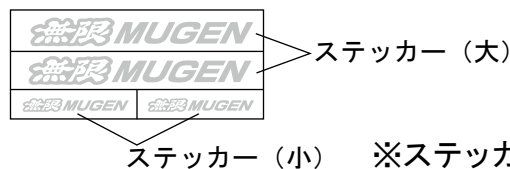
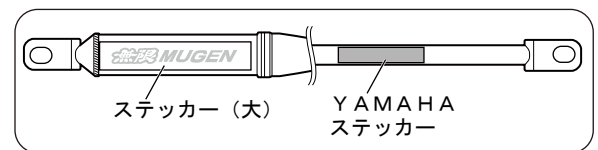
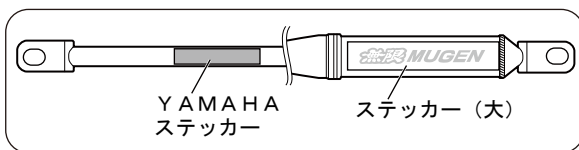
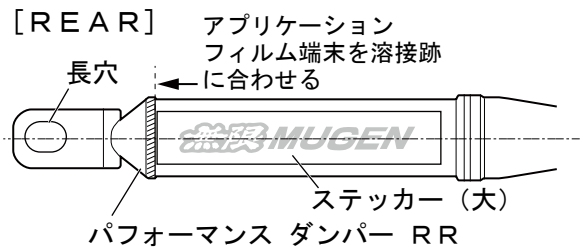
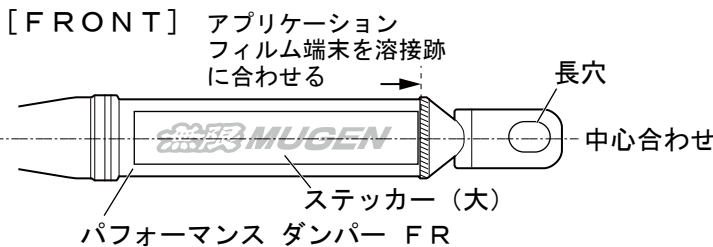


## 【必要工具】

- ・ドライバー+ ・クリップリムーバー ・スパナ、メガネレンチ 14mm
- ・ボックスレンチ 10mm、12mm、14mm、17mm、ヘックレンチ5mm
- ・鉄ハンマー ・エアソー ・ベルトン ・カッター ・イソプロピルアルコール

## ■ステッカーの貼り付け

- ①パフォーマンスダンパー (FRONT)、②パフォーマンスダンパー (REAR) のシリンダー部に下図要領で⑰ステッカー (大) を貼り付ける。  
その際、貼り付け面を脱脂洗浄すること。

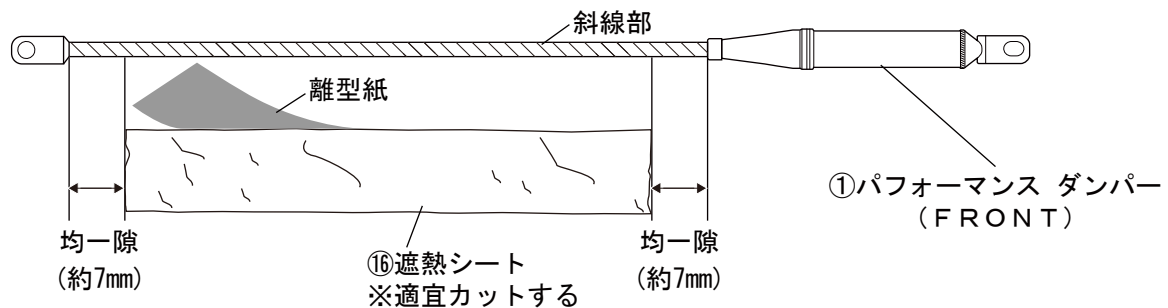


※ステッカー (小) はご自由にご使用下さい。

## I. フロント側の取付準備

- 《注意》
- ・ボルト・ナット類が錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
  - ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
  - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. パフォーマンスダンパー (FRONT) のロッド部分(斜線部)を脱脂洗浄し、⑯遮熱シートの離型紙を剥がし、全周に巻くように貼り付ける



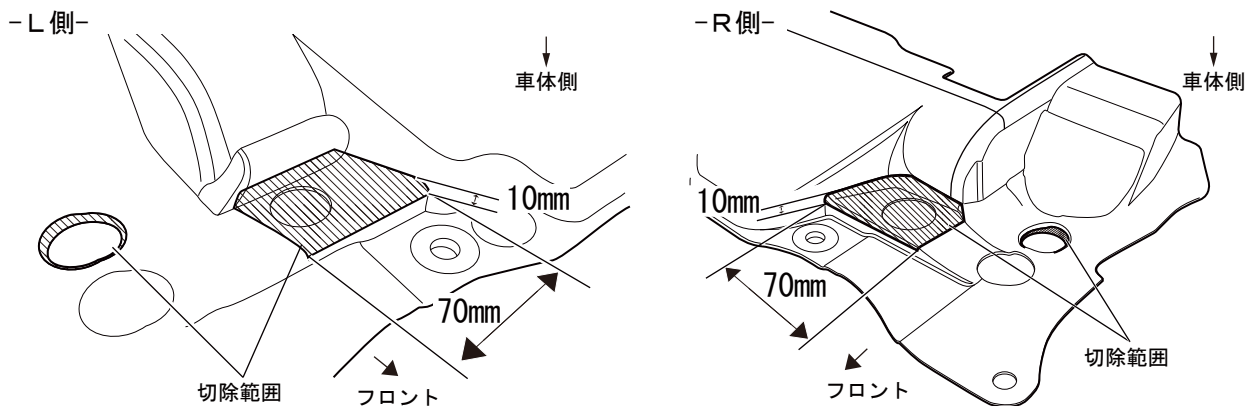
※遮熱シートの圧着は十分行うこと。  
圧着不足は、遮熱シートの浮き剥がれの原因となります。

### 注意

接着力を向上させる為、遮熱シート貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。  
温度が低いときには、遮熱シートをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

2. 車両をリフトアップしてエンジンアンダーカバーを取り外す。(サービスマニュアル参照)

3. エンジンアンダーカバーの前方部分の下図斜線部をエアソー等を使い、切除加工する。  
切断面はバリ取りをすること。

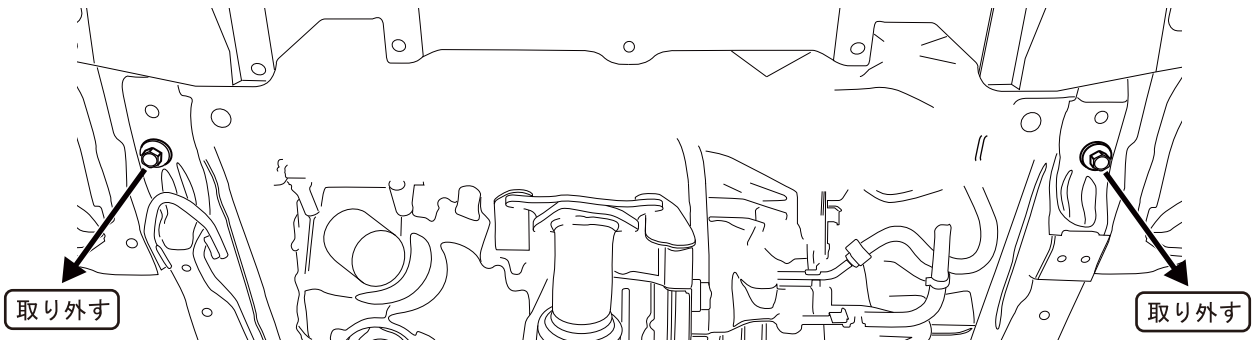


4. バルクヘッドロアブレースを取り外す。(サービスマニュアル参照)

※ボルトは再使用しない。



5. サブフレーム前方の取り付けボルトを2カ所取り外す。  
 ※ボルトは再使用しない。

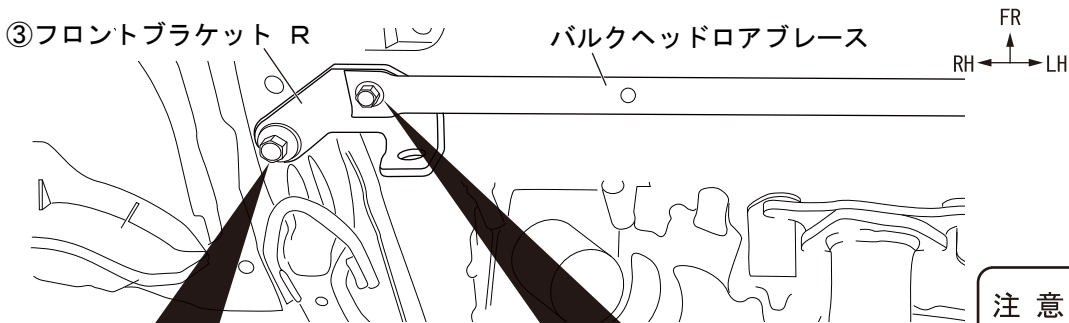


## II. フロント側の取付

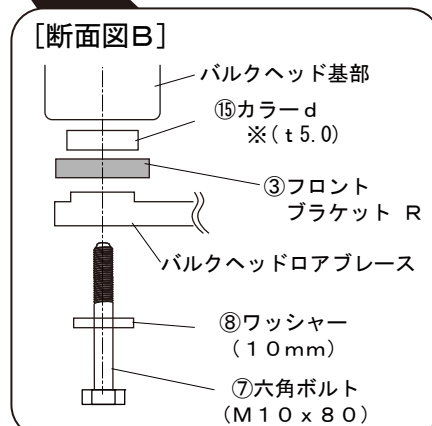
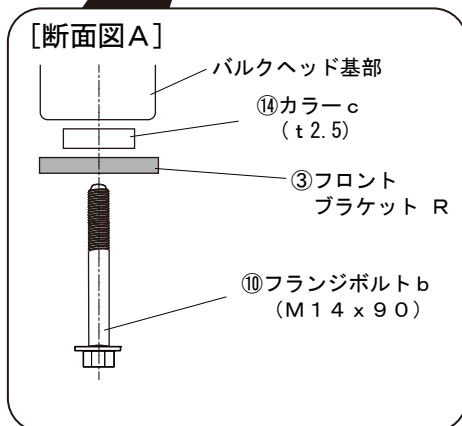
- 《注意》 ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。  
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. バルクヘッド基部に⑭カラーc、③フロントブラケット (R/L)、⑩フランジボルトb、の順で仮締めする。[断面図A]  
 その後、バルクヘッド基部の内側の穴に⑮カラーd、③フロントブラケット (R/L)、バルクヘッドロアブレース、⑧ワッシャー、⑦六角ボルト、の順で車両に仮締めする。[断面図B]

[使用部品]



注意 インパクトレンチ  
使用禁止

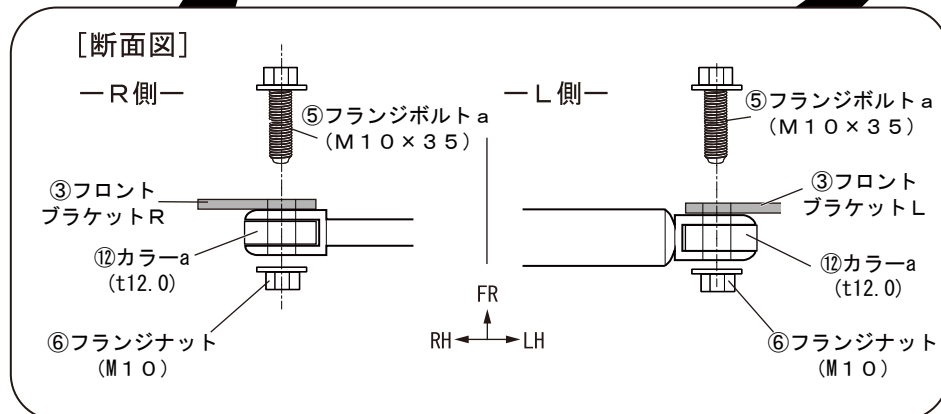
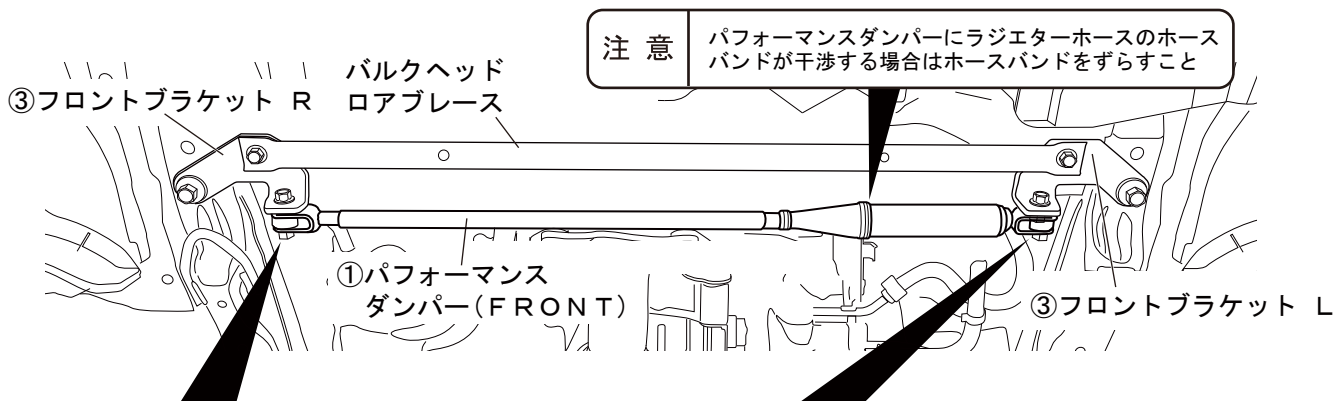
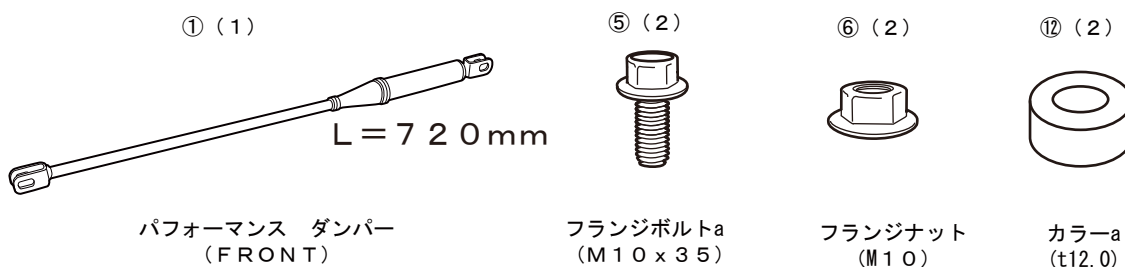


※R側も同様

※⑬カラーb (t6.0) と⑮カラーd (t5.0) は形状が似ていますが厚みが異なりますので誤って組付けないよう注意してください。

2. ①パフォーマンスダンパー(FRONT)をフロントブラケットに⑤フランジボルトa、⑥フランジナットで仮締めする。  
 その際に⑫カラーaを〔断面図〕の位置になるように入れる。

〔使用部品〕



注意 インパクトレンチ使用禁止

3. 取付位置や各部に干渉がないことを確認し、車両を1G接地状態(タイヤ4輪が接地した状態)にして、Ⅱ-1で仮締めした⑩フランジボルトb、⑦六角ボルト、Ⅱ-2で仮締めした⑤フランジボルトaの左右各1ヶ所を下記指定トルクで本締めする。

注意 車両(4輪)を水平な場所で1G接地状態で締め付け作業をすること。

⑩フランジボルトb  
 締め付けトルク : 103 N·m (10.5kgf·m)

⑦六角ボルト  
 締め付けトルク : 58 N·m (5.91kgf·m)

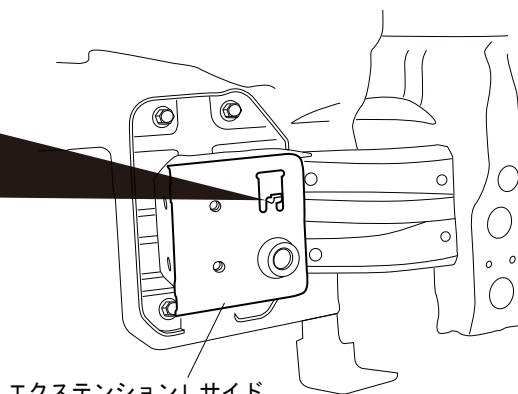
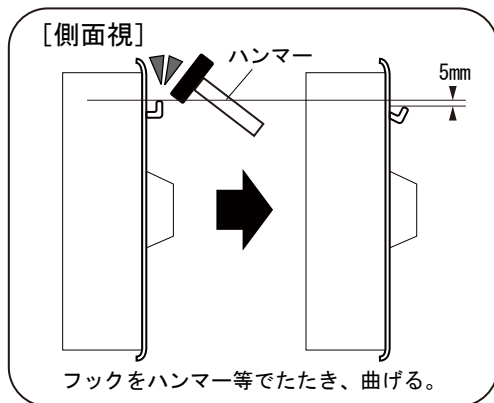
⑤フランジボルトa  
 締め付けトルク : 40 N·m (4.08kgf·m)

4. エンジンアンダーカバーを復元する。(サービルマニュアル参照)  
 ※エンジンアンダーカバーを車両に戻す際、車両側に干渉する場合は適宜、穴を切り広げて下さい。

### Ⅲ. リア側の取付準備

- 《注意》 ・ ボルト・ナット類が錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。  
 ・ 素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。  
 ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. リアバンパーを取り外す。(サービスマニュアル参照)
2. バンパービームを取り外す。(サービスマニュアル参照)  
 ※取り外したボルト(8本)は再使用しない。
3. エクステンションRサイド/Lサイドのバンパービームが載るフックを鉄ハンマーで5mmほど下方に曲げる。(下図参照)

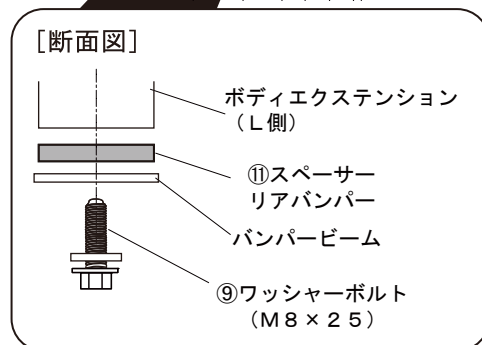
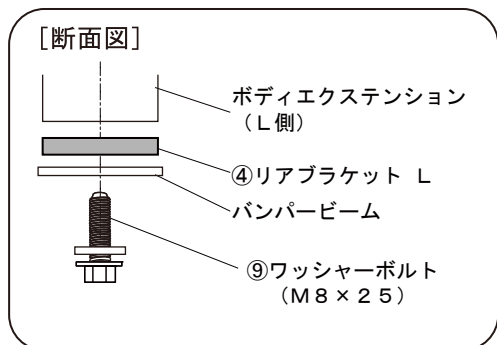
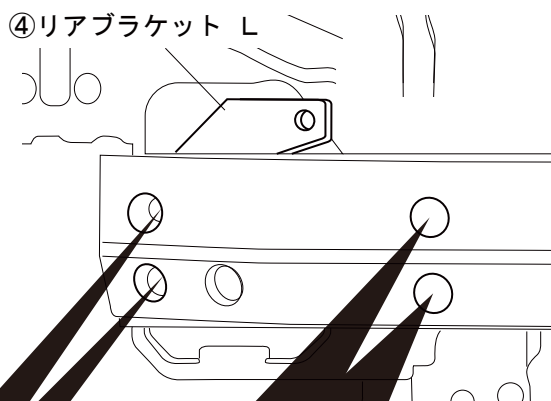
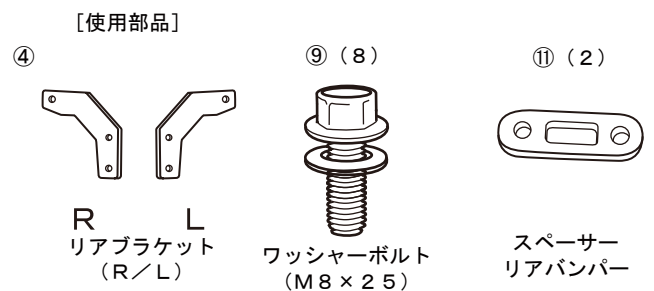


※R側も同様

### Ⅳ. リア側の取付

- 《注意》 ・ 素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。  
 ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ④リアブラケット(R/L)、⑪スペーサーリアバンパーをはさんで、バンパービームを⑨ワッシャーボルトでボディエクステンションに仮締めする。



注意 インパクトレンチ  
 使用禁止

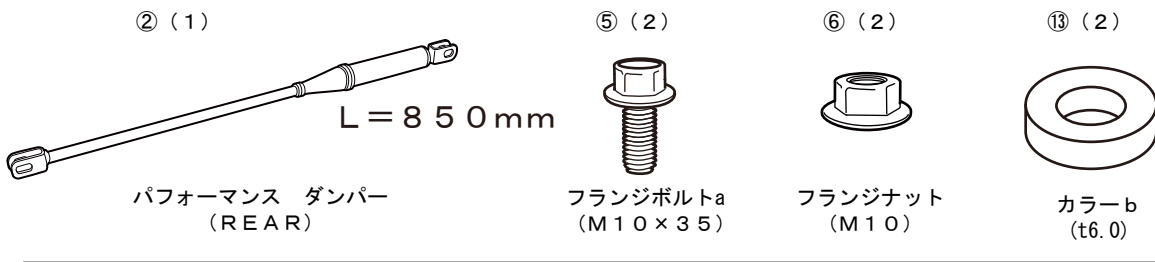
※R側も同様



2. ②パフォーマンスダンパー(REAR)をリヤブラケットに⑤フランジボルトa, ⑥フランジナットで仮締めする。

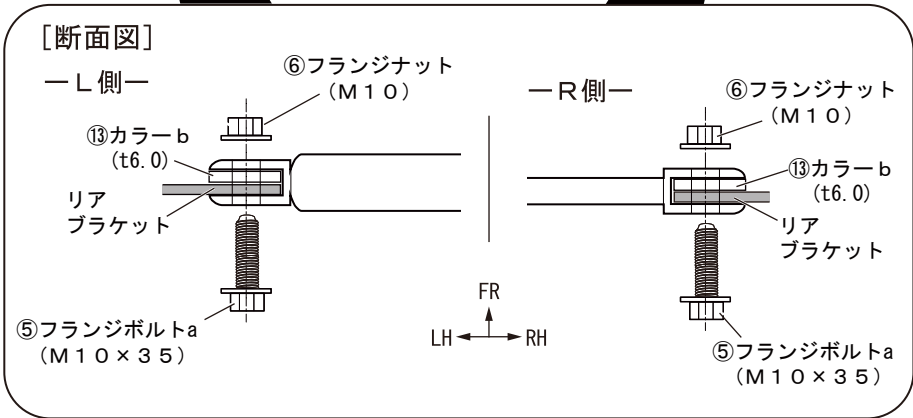
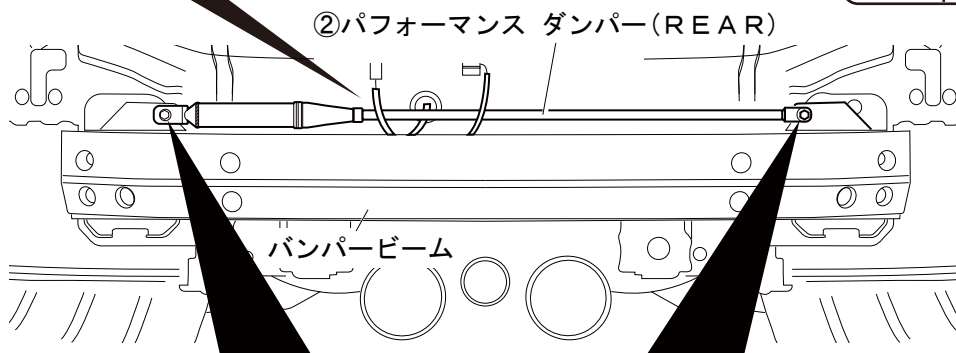
その際に⑬カラーbを〔断面図〕の位置になるように入れる。

〔使用部品〕



**注意** 配線の間パフォーマンスダンパー(REAR)を通すこと。その際に、配線を傷つけないよう注意すること。

**注意** インパクトレンチ使用禁止



3. 取付位置や各部に干渉がないことを確認し、IV-1で仮締めした⑨ワッシャーボルト8ヶ所、IV-2で仮締めした⑤フランジボルトaを車両を1G接地状態(タイヤ4輪が接地した状態)にして左右各1ヶ所を下記指定トルクで本締めする。

**注意** 車両(4輪)を水平な場所で1G接地状態で締め付け作業をすること。

⑨ワッシャーボルト  
締め付けトルク : 22 N・m (2.2 kgf・m)

⑤フランジボルトa  
締め付けトルク : 40 N・m (4.08 kgf・m)

4. 各部の取付状態が完全か確認し、リアバンパーを復元する。(サービルマニュアル参照)